

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 荒川 吉孝
現代英語 I Modern English I	1	必修 前期・講義・2単位	研 究 室 A棟3階 (A 301) 内線電話 8906 e-mail: arakawa@maizuru-ct.ac.jp
	授業 (30 時間) + 自己学習 (60 時間) = 標準 90 時間の学習時間		
	科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 分析 <input type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造		
<p>【授業目的】 この授業は次の角度から英語の学習を深めることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 書き手や話し手の意図に焦点を当てて英語を理解する。 2. 強勢, リズム, イントネーションに注意して音読する。 3. 英語と日本語の背景に横たわる文化の相違を意識する。 <p>【Course Objectives】 The course aims to encourage students in the following aspects of English learning:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To understand English, focusing on the intention of the writer or the speaker. 2. To practice reading aloud, paying attention to stress, rhythm and intonation. 3. To become aware of cultural difference at the back of linguistic difference between English and Japanese. 			
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手が明瞭に身近な事柄, 自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合, その内容を聴いて理解できる。 2. 説明文などを正確に読み, その概要と筆者の意図を把握できる。 3. 自分や身近なことについて 100 語程度の簡単な文章を書くことができる。 4. 発音, 強勢, 抑揚, 息継ぎに留意して英語を音読できる。 5. 表現の分析と理解を通して英語的な発想の一端に触れる。 			
<p>【学習・教育到達目標】</p> <p>(E) 豊かな人間性・国際性・協調性および英語によるコミュニケーション能力を身につける。</p>			
<p>【キーワード】</p> <p>文脈, 意図, 文化的背景 context, intention, cultural background</p>		<p>【授業時間】</p> <p>2 時間(90 分)×15 週 = 30 時間(22.5 時間)</p>	
<p>【授業方法】</p> <p>授業では学生を指名し, 英文の聞き取り, 英文の音読と解釈, 設問の解答をさせた上で, 解説を行う。資料等のプリントを配布し, 小テストを実施する。</p>		<p>【学習方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分からない単語は授業前にすべて辞書を引き, 発音と意味を確認しておく。 2. 予習の時に CD を聞いておく。 3. 予習のときに理解できなかった箇所や疑問に思った点を発表してもらい, 問題を一緒に考える。 4. 小テストで間違えた箇所を理解できるようにする。 	
<p>【履修上の注意】</p> <p>この科目は授業での学習と授業時間外の自己学習によって成り立つ。</p>		<p>【科目の位置付け】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先行して履修すべき科目 総合英語 VA, 総合英語 VB 実践英会話 II 	
<p>【定期試験の実施方法】</p> <p>期末試験を行なう。時間は 50 分とする。持ち込みなし。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 2. 後で履修する関連科目 現代英語 II 	
<p>【成績の評価方法・評価基準】</p> <p>定期試験結果 (60%) と小テストや音読, 応答, 英文エッセイ等の評価 (40%) の合計をもって総合成績とする。 到達目標に基づき, 文法と正しい強勢や抑揚等の習得, 文脈や英語的な表現に対する理解等を基準に評価する。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 3. 同時に履修する関連科目 	

【教科書・教材等】

教科書：Best Practice for the TOEIC® Listening and Reading Test: Revised Edition（成美堂）

教材：プリント配布資料，教科書附録のCD

【参考書・参照 URL 等】

参考書：『総合英語 Forest』（桐原書店）

【授業計画】

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバスの説明 導入 Unit 1 Restaurant	1 2 3 4 5	1～7
第2週	Unit 1 Restaurant	〃 〃	〃
第3週	Unit 2 Entertainment	〃 〃	8～14
第4週	Unit 2 Entertainment	〃 〃	〃
第5週	Unit 3 Business	〃 〃	15～21
第6週	Unit 3 Business	〃 〃	〃
第7週	Unit 4 Office	〃 〃	22～28
第8週	Unit 4 Office	〃 〃	〃
第9週	Unit 5 Telephone	〃 〃	29～35
第10週	Unit 5 Telephone	〃 〃	〃
第11週	Unit 6 Letter and E-mail	〃 〃	36～42
第12週	Unit 6 Letter and E-mail	〃 〃	〃
第13週	Unit 7 Health	〃 〃	43～49
第14週	Unit 7 Health	〃 〃	〃
第15週	補足と総括	〃 〃	〃
★定期試験			
定期試験返却・到達度確認			

【学生へのメッセージ】

英語が上達するには時間がかかります。

しかし、今すぐ目には見えなくとも、努力しただけ力はつき、きっと実を結びます。

あせらず、あきらめず、楽しみながら、学んでいきましょう。

粘り強く続けていくと、ある日、自分が壁を越えたことに気がつきます。